



うた
中二病の詩

あめのこやみ
雨野小夜美

目次

目次

- 1 歩く時計マン
- 2 見える聴こえる触れる幻覚
- 3 ドラゲナイ
- 4 たった一回のあいさつで
- 5 CP換算
- 6 キラキラ
- 7 れんじ
- 8 大人になったら

あとがき

歩く時計マン

「ねえ、歩く時計マン」

「何？」

「何かいい歌を歌って」

「何の歌がいい？」

「わかんないけど、歌って」

「うん・・・」

「どうしたの、歌って」

「君は頼りすぎだよ」

大好きな私のウォークマンに初めてつけた名前。
歩く時計マン。思い切りヘンな名前がかわいいでしょ。
それに時刻まで表示してくれるの。
歩く時計マン。

「何にしよう？」

「何がいい？」

「そうだ、あいつらを消せるような歌を歌って」

「あのね・・・」

「どんなのでもいいから」

画面がパッと消える。
黒い鏡になる。
ニキビだらけの顔を映し出す。

「歩く時計マン、どうしたの？」

「電池切れだよ」

「さっき充電したよ」

「・・・」

「歩く時計マン、今何時？」

「・・・」

僕は、
誰かを消すための歌は歌わない。
君の歳より幼い笑顔を見るために歌ってたのに。
名前を呼ぶ君を幸せにする方法を、
考え続けているただの機械。

私、
黒い鏡をただ見つめる。
見慣れたニキビ顔の上に涙が降る。
歩く時計マン。私には君しかいないの。
消えないで。
何か歌って。
何も思いつかないけど、歌って。歌って。
せめて何時か表示して。
時間。ざわめき。怖い。いなくなるの。

「歩く時計マン、」

「歩く時計マン、」

「・・・」

画面がパッとつく。
時刻が表示される。
初めての大好きなウォークマン。
歩く時計マン。
何か歌って。
私のために何か歌って。
何がいけなかったの？

私には君しかいないの。

歩く時計マン。

いつまでも。

「何か歌って」

「何かって何だよ」

「いつも寝る前に聴くやつ」

「ああ、あれか」

「名前なんだったっけ」

「知らねーよ」

「歩く時計マン」

「だから何だよ」

「呼んでみただけ」

名前つけてくれたのは嬉しいけど。

嬉しいから今夜僕はこっそり消えるんだ。

あいつらが呼んでるよ。行ってこいよ。

機械なんかを友達にするなよ。

見える聴こえる触れる幻覚

ときどき たまに
見えないものは存在していないって思う
空気、ウイルス、二度と会わない人
でも見えるものでさえ
本当に存在しているのかな？

見えるあなたに触る
存在していることを教えてほしい
見える、声が聴こえる、触れるけど
僕はそれさえ
見える聴こえる触れる幻覚なんじゃないかって思う

たぶん僕らは
一生という連続ドラマを見せられているだけなんだ

見える聴こえる触れるあなたを抱きしめる
シャンプーか何かの優しい匂いがして
世界っていう知らないものを肌で感じる
ああ でもときどき
あなたさえも幻覚なのかって思う

「われ思う、ゆえにわれあり」
学校の授業で習ったよね
その言葉はときどき
僕の脳を奪ってしまうんだ
ここには少なくとも
何か必死で考えているものがある
人かどうかさえわからない

でもどうか連続ドラマなら
あなたがヒロインがいい

ハッピーエンドが見たい

あなたは見える聴こえる触れる幻覚かもしれない

それでもいい

連続ドラマの中であなたは生きている

あと一秒で消えてしまう幻を抱きしめる

空気、ウイルス、二度と会わない人

そんなものない

あなたは見える聴こえる触れる

存在を示して

それでいい、って教えて

ドラゲナイ

悲しいのは悲しくない

何も感じなくなっていくのが悲しいんだ

「ドラゲナイ」って紅白歌合戦の頃に流行ってたよな

今はもう死語だと思うけど

ドラゲナイ子供とドラゲナイ大人たち

たぶんあの子供の名前はピカチュウ・J・キャプテン・田中だな

映画のヒロインや大統領にトランシーバー持たせて喜んでる

バカ

でもバカなのはバカじゃない 天才だと思うよ

紅白歌合戦を途中まで見ていたんだ

あまりにもドラゲナくって10時半くらいに寝た

だって モッズコート着て 思ったよりうまい英語使って

さらにトランシーバー

ああ 不思議なカッコしてるなあ

何も感じなかった

あと よ○かい体操と

あれから半年

みんなドラゲナくなくなってしまった

今頃 悲しくなったんだ

あんなに意味不明な祭りが終わったみたいで

でも悲しいのはまだ希望があるんだ

だって少なくとも

何か感じているのだから

私は悲しくない

悲しいから

何の金にもならない

詩なんか書いてる私が 絶滅寸前 最後のドラゲナイ人だと思うから

最後の電球が消されたあとの 寂しさに今頃気付いた

だって紅白10時半に寝たくせに

あとからモッズコート買ったからね

希望のある悲しいバカ

本当 救われるしかないバカだなあ

トランシーバーまで買っておけばよかったのに

たった一回のあいさつで

今日はすてきに病んでる日

朝からそう思うんだ

だって

近所の人全部コピペ

まず あいさつがコピペ

ああ 嫌だなあ

使用済みの紙くずが転がってる

ベッドにもぐりこむ自分みたいだ

この街から出たい

何か よくわからない遠くへ行きたいな

天国なんてどこにもないのをわかってて

考えてしまうんだ

うん すごい病んでる

起きたばかりなのにまた寝たい

とりあえず気晴らしに

外でも出よう

「おはよう」

通りすぎるあなたが言う

耳をふさいでいるのに聴こえたんだ

えっ この人コピペじゃない

あいさつがコピペじゃない

たった一回のあいさつで

救われるなんて信じてなかったよ

まったく信じてなかった

とりあえず「おはよう」って返して

その場を離れた
もう表情筋が動かないな
私の方がコピペかも

何もせずに家へ帰る
なぜか部屋のカーテンを
開ける気になったんだ
朝の光は パーティーのクラッカー

きっとコピペじゃないんだろう
私の思いこみだろう
「おはよう」ってみんな
心から言ってたのに

言葉では言い表せない言葉
「嫌だなあ」がずっと消えていくような
最終兵器よりも強くなれる言葉なんて
信じてなかったよ
この街から出たい
何かよくわからない遠くへ行きたい
夢の話じゃないんだ

たった一回の「おはよう」で
救われるなんて信じてなかったよ
うん まったく信じてなかった

CP換算

CP換算が1000mgを越えているんだろう
目が痛くてもまだ画面を見つめて返事を待ってる

日本人のCP換算なんかきっと2000mgとか3000mgとかいってる
みんな心の病気になってる
CP換算がまともな人って誰？
きっとそんなにいない

LINEってCP換算するとどれくらい？
Twitterはどれくらい？
Facebookは？Instagramは？アメーバブログは？

空を見てるだけ
右手を握って

親がモンスターになっちゃった
小学生までがネットで病んでいく
薬を30個飲んだら死ぬに決まってる
SNSを30時間やるのと何が違うのかな？

CP換算なんてきっと誰も知らないよ
一部の医者しか知らないよ
クロルプロマジンとか小学生には通じないよ

教えて
次の日本を支える若い人を
CP換算するとどれくらい？
iPhoneを手放せない人のCP換算はどれくらい？
300mg以下じゃ
寂しくて足りないんでしょ？
600mg以上を過ごす時間は何のためにあるんだろう？

iPhoneが朝起きたら

手の一部になってるかもね

君の依存度をCP換算してみようか

怖いならもっとしてみようか？

テレビの向こうの誰が死んでも困らないのに

SNSが死んだら困るんでしょ？

君と見たいだけ

空が青いだけ

キラキラ

あたしの帽子は
キラキラ光っているの
金とか銀じゃなく
キラキラ光っているの

その帽子はお店で見たときも
ひとつだけキラキラ光っていたんだ
ママに「買って」っておねだりして
高かったみたいだけど買ってもらった

後で ママが教えてくれた
この帽子がキラキラ光ってなかったら
絶対を買わなかったんだって

だってどこにいても目立つから キラキラ光っているから
絶対に迷子にならないもん

キラキラ光る帽子をつれて
パパとママと失われた海に行ったんだ
記憶にあるのはそこまで

私は今 その帽子をかぶってない
どこかへ捨ててしまったんだろう
だってもう大人なんだから迷子にならないし
一人で電車だって飛行機だって乗れるけど

あの帽子をかぶっている子どものような
輝きはもう私にはないのだろうな

クローゼットから夏服を出したら
あ那时的帽子が星のように転がり出てきた
どこにかくれんぼしていたんだろう
子どもの帽子だけど 意外と 鏡の前 似合ってる

私の帽子は
キラキラ光っているの
パールでもルビーでも貝でもなく
キラキラ 光っているの

れんじ

何かしようと思って近所のカビ臭いスーパーに行った
何をするのか 何を買うのか わからないままで
そうだ植物でも育てたら食えるし楽しいかな
水やりなんか本気で毎日できるなんて思ってなかったけど

とりあえず腹減った
何か売ってる弁当買って帰ろうか
ミニトマトの苗の前で 立ち止まって考えた
弁当は何にしようかな レンジで温めるんだな

そうだ 君はれんじ あたしのれんじ
持ち上げたミニトマトの苗が 戸惑って揺れている
あたしのれんじ 毎日水あげるって約束するよ
真っ赤なれんじジュニアをいっぱい作ってよ

ミニトマトのれんじは 暑さに負けずに元気になっていった
あたしは暑さに吸われて弱っていった
れんじがまだ青いまるを かわいいマスカットか何かのようにつけだした時
あたしは起き上がれないことをベッドの中で知ったんだ

6畳の 白い城
れんじはどうなったんだろう？
窓の外にれんじがいないのに慣れていくのが怖かった
あたし 約束を破ったよね 完全に破って壊したよね
雨はなぜか降らない

もうミニトマトの苗に名前付けるなんて 馬鹿馬鹿しいことはやめよう
れんじは植物 あたしは人
白い城の中はやたら寒くて 外の気温がわからない
れんじ 雨が降らないよ...

白い城の鍵が開いたとき
初めて見た外はただ眩しかった
希望にあふれた花々のモザイク
見ながらどこかへ運ばれていく

何の希望も持たずに家へ帰ってきて
畑のやたらでかい赤いものに気が付いた
れんじ...重くない？それ
これでもかとれんじジュニアがぶら下がってる

あたしは約束を破って壊して
赤い花火みたいに 包み込むように れんじは優しく咲いているんだ

大人になったら

小学生の頃

私は大人になったらどんな人になるんだろう？って考えていた
とりあえず茶髪？に染めて
長い黒のスカートはいて
車を取り回してる？ようなイメージしかなかった
大人になったら自由に好きなところへ行けて結婚して家族ができて...

早く大人になりたいな

そう思ったた

大人になったら 大人になったら

何かもらえると思ったんだ

大人になったら 本当になったら

奪われていくものばかり

クラスにはよくイヤなヤツがいる たいてい一人か二人いる

でも大人になってもやっぱりいる

テレビの向こうにはよく

かわいそうな人たちがいる

それは大人になったあなたのことだよ

時間にしばられて起きる 退屈な制服を着る

頭を下げる ひたすら下げる 悪いことしてないのに

夜遅くまで画面を見つめる 書類が目が痛いまで見つめる

それでも大人になってよかった

強くなれるから

何もかも奪われていくけど

手に入れるものもあったんだ

だって昨日気づいたんだ

自分がこんなにも強い人間になったこと

寒かったら冬のパーカを着る

暑かったらバスタオルのせて寝る

髪は自分で染める

忘れていないかチェックする

車にガソリンを入れてもらう

時間は必ず守る

部屋を清潔にする

役場に行く

誰も助けてくれない 他人のことは

大人になったら 大人になったら

自分のヒーローになれるんだ

教科書にのれるような人にはなれなかった

でも私は大人になれたんだ

よかった

あとがき

雨野小夜美です。

このペンネーム、一発変換できなくて困ります。

しかも「あまのさよみ」とかって読めます。

「あめのこやみ」なんですけどね。

とりあえず、この本を手にとってくださってありがとうございます。

詩の本を読もうとは、それだけすごいですよ。

だって最近の現代詩って、こう言うと現代詩を書いている方に申し訳ないですが、難しくすぎてよくわからないです。

私は絶対、詩の本は手にとりません。

最近売れたのは、難病ものばかりじゃないですか。難病じゃない詩は、ご高齢の方の書いた詩。

まあ、よく詩の本をここまで読まれたものです。

あとは余計な解説はしない方がいいと思うので、一切読んでくださる方の解釈におまかせします。

「あめのこやみ」というのは、以前のペンネームのままでいられなくなったので、とりあえず窓の外を見ていたんです。そしたら、雨がこやみになってきて。もう、それだけ。あとはあて字です。でもなんとなくロマンチックなあて字なので、変換しにくいけど気に入ってます。

雨の野。小さな夜の美しさ。立っていたらだんだんこやみになってくる。はい、中学生の発想ですね。

まずこの詩が何の金にもならないご時世に、詩を書いていること自体が中学生レベルですよ。しかも全然懲りない中学生です。前のペンネームから数えて、これたぶん46冊目か、47冊目だと思うんですが...もうこれは延々と中学生が恥ずかしくて朗読もできないポエムを作り続けている、っていう状況です。しかも詩の本なんか読まない奴が、ですよ。本自体ほとんど読まない。頼むから人前で朗読しないでください。

私は、まだ懲りないと思う。

私は、絵が得意です。もちろんイラストレーターでも何でもありませんが。昔、美術部にいたことはあったかも。それくらい。

でも毎回、表紙の絵を苦労して描いてます。技術は中学生レベルですけど。まあこれも余計なこととは言いません。

けっこう雑なので、「いかに簡単に描けて難しそうな絵に見せるか」という...そこにこだわってますね。

たぶん、ここまで詩の本を読まれたあなたは、何歳かわかりませんが、本当に青春してると思います。空想も妄想も、言い方を変えればロマンチックなんですよ。

最後に、この本を作るのに協力して下さった家族や登場人物のモデルになって下さった方々に深く感謝します。あと人物じゃないけど、ウォークマンとれんじに。

2016年7月14日 雨野小夜美